# 今後の河川整備基本方針の策定について

資料3

## 新たに基本方針検討小委員会で審議を開始する水系

水系名	流域面積 (km2)	幹川流路 延長 (km)	流域内 人口 (千人)	想定氾濫 区域内 人口 (千人)	流域の 主な道県
土器川	127	33	35	103	香川県

基本方針検討小委員会で審議中

河川整備基本方針策定済み水系

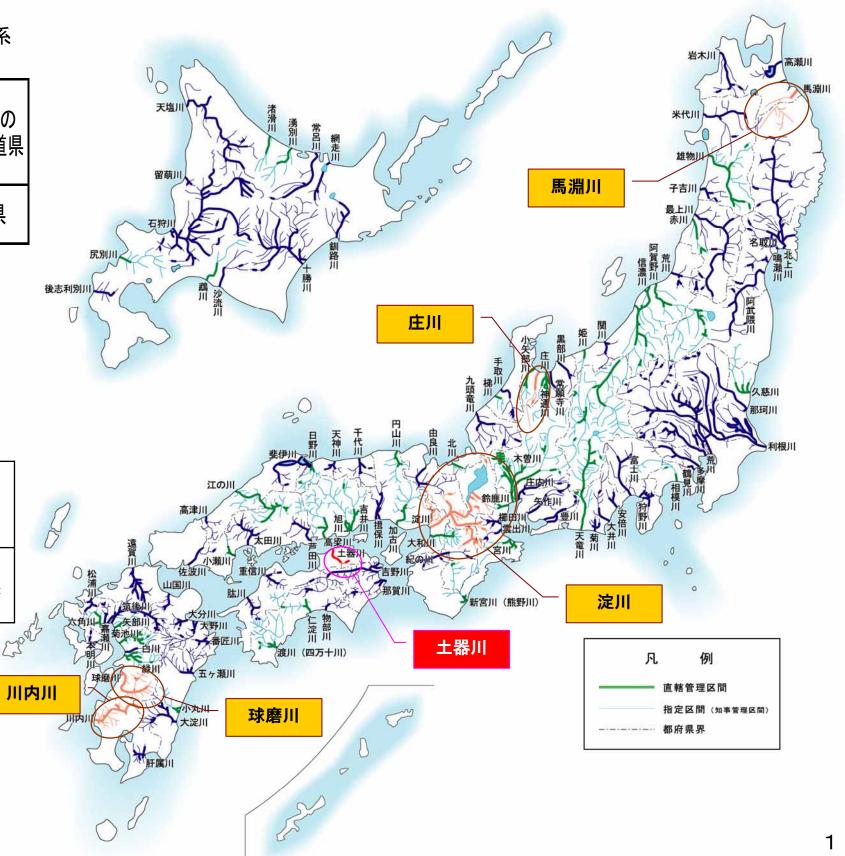
なお、球磨川、馬淵川、庄川は

小委員会で審議済み

5水系

67水系

の水系



# 土器川水系

#### 流域及び氾濫域の諸元

流域面積 : 126.9km<sup>2</sup> 幹川流路延長:33km 流域内人口 : 約3.5万人

主な市町村 : 丸亀市、まんのう町 想定氾濫区域面積 : 約61.4km<sup>2</sup> 想定氾濫区域内人口 : 約10.3万人 想定氾濫区域内資産額: 約14.300億円

#### 工事実施基本計画

対象降雨量:325mm/日(1/100) 基本高水のピーク流量:1,700m<sup>3</sup>/s(祓川

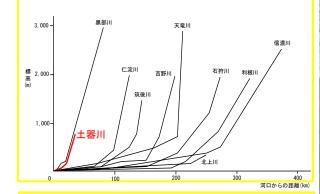
橋)

計画高水流量: 1.350m³/s (祓川橋)

#### 地形・河川特性

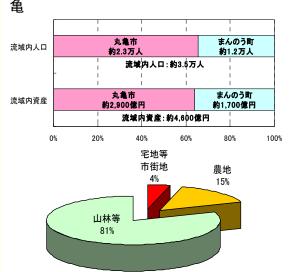
#### ●全国有数の急流河川

常包地点より下流は扇状地となっており、下流部 で河川勾配が1/200程度であり、有数の急流河川



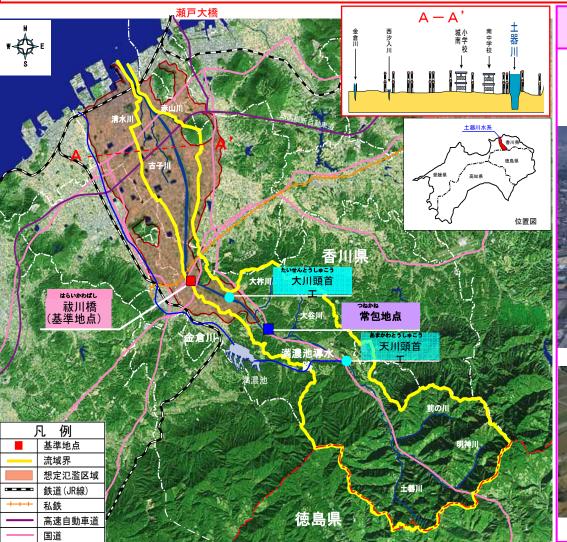
#### 土地利用状況

## ●流域人口及び資産の約65%が下流の丸



#### つねかね

- ●常包地点より下流は扇状地となっており、下流部で河川勾配が1/200程度の有数の急流河川である。一度氾濫すると拡散型氾濫となり、人口・資産が集中する香川県第二の都市丸亀市街地全域に被害が及ぶ
- ●年平均降水量が全国平均約1,700mmに対して、土器川流域では約1,200mmと少ない。中流部では年平均200日程度瀬切れが発生している。このため、満濃池をはじめ多くのため池が設けられるとともに、伏流水を取水する出水など、地域特性に応じた取水形態が発達
- ●高水敷は、運動公園・親水公園等として利用が盛んであり、年間を通じて多くの人々の憩いの場となっている。



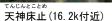
#### 治水対策

- ●中小河川改修の着手(昭和25年)以降、下流部から上流部へ順次、 堤防の新設・拡築を実施
- ●昭和30~40年代には、河床安定を目的に床止工を設置
- ●中小洪水でも頻発する河岸・堤防の洗掘・侵食被害を復旧

<昭和初期の土器川>小規模堤防、無堤状態

現在の土器川(左右岸堤防拡築)と背後地状況



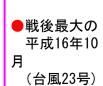




平成16年10月洪水被災箇所の復旧状況

#### 主な洪水被害

●昭和50年8月 (台風6号)の 出水により護 岸の被災や橋 梁の流出など の多大な被害 発生



約1,040m3/

(祓川橋)

の 出水により 浸 水被害や多







#### 河川環境の特徴

申流部で流水が伏没し、 瀬切れが頻発

(年平均200日間程度)



- ●かんがい用水 等を満濃池を はじめ池が設 ためれてきた
- ●川底の伏流 水を取水する 出水などの取 水形態が発達



